



2016~2017

国際ロータリー第 2730 地区

# 週報 佐土原ロータリークラブ

ROTARY SERVING HUMANITY

RI テーマ  
人類に奉仕する  
ロータリー

会 長：岩切正司 副会長：郡司武俊 RI2730 地区ガバナー 大重 勝弘  
 幹 事：田邊揮一朗 会 計：新原輝彦 中部分区ガバナー補佐 藤堂 孝一  
 事務局：吉野由里子 会報委員：中武幹雄 RI 会長テーマ人類に奉仕するロータリー  
 例 会 場：ワールドコンベンションセンターサミット 2730 地区テーマ ロータリーを楽しもう！  
 例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL：0985-21-1155・FAX 0985-21-  
 事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

第 1439 回 例会 平成 29 年 5 月 10 日(水)

### <本日のプログラム>

1. 点 鐘 ～ 月初め《国歌斉唱》
2. ロータリーソング 《奉仕の理想》
3. 四つのテスト唱和 4. お客様・ビジター紹介
5. 会長の時間 6. 幹事報告
7. 出席報告 8. ハッピー披露
9. 委員会報告・30 周年委員会 10. 米山・セレモニー他
11. ガバナー補佐より 12. 点 鐘

### <5 月度例会プログラム>5/3 祭日休会

- △5/10～5 月度セレモニー(5 組)・米山授与式・フォーラム
- △5/17～地区研協議会・地区合同会員増強・参加者報告
- △5/24～会員卓話 「未卓話者・新会員・他」
- △5/31～次年度方針発表「会長エレクト・郡司会員」

第 1437 回 平成 29 年 4 月 19 日(水)

### ■会長の時間 岩切 正司会員



皆さんこんにちは、本日はロータリークラブの「寛容の精神」について話をさせていただきます。他を認め

合うという事に尽きると思います、ビジネスの世界でもどの世界でも大切な事だと思います。ポール・ハリスは、寛容とはロータリアンの心であるとある著書に書いています。宗教的にも、政治的にも寛容の心があれば平和が築かれると述べています。しかしながら、自分も含めてロータリーの会員が本当に寛容の心を理解しているのでしょうかと疑う時があります。寛容という語は英文の TOLERATION の訳語です。英和辞典では、寛大な態度をとるという他に、我慢する、耐えるという訳文もあります。国語辞典では、寛容とは心がひろく、よく受け入れることとあります。実際に寛容とは他人に許しを求めるということに使われがちですが、そうではなくて自らが他人に対していつも心ひろく暖かく接することだと思います。その上で多くの人と接する時には、我慢もし、耐えることも心の中になければならないということです。に近い印象を

受けます。更に P.ハリスはすべての人は自分の職務に愛着を持つことと述べています。人のためにつくし、そして自分の仕事に愛着心があれば、寛容のところが自然にその人に備わるのではないのでしょうか。ロータリーを通して、社会を通して、そして自分の仕事を通して多くのことを学び、それを社会に還し平和な社会を築くための努力をする—これがロータリーの心であると思います。

### ■幹事報告 田邊揮一朗会員



### <文書報告>

- \* 日南中央 RC ～創立 40 周年記念 DVD 送付案内 (2 枚)

- \* 宮崎東 RC～IM 記録誌 送付案内 (18 部)
- \* 「会長賞」への取り組み状況一覧表
- \* 加治木 RC～50 周年記念式典の御礼
- \* 日本のロータリー100 周年委員会設立趣意書
- \* 入会 3 年・5 年未満の会員数について

### <報告事項>

- \* 5 月 14 日 (日) 地区研修・協議会の参加者に 1 部変更がありますのでお知らせします・

- + 奉仕プロジェクト委員会・副委員長小牧会員参加
- + 会員増強委員会・副委員長太田会員参加を追加

### ■出席報告 榎田直樹会員



|     |         |
|-----|---------|
| 会員数 | 26名免除2名 |
| 出席数 | 18名     |
| 出席率 | 72.0%   |
| MU  | 名       |
| 欠席届 | 8名<免除>  |

### ■ ハッピーBOX 披露 柳田光寛会員

### <財団へ>



- 岩切正司会員～例会出席に励みましょう。

## ■ 会員卓話

### 荒武義博会員



皆さんこんにちは、私の卓話は前回の予定でしたが、仕事の都合でどうしても出席

することが出来ませんでした。今日は新しい方も数名おられますので自己紹介を兼ねて私の生い立ちから現在までをお話しさせていただきます。

### ■ 藤堂孝一会員

先日の地区職業奉仕研修セミナーの話の少しさせていただきます。

菊池平PGの体験話から奄美分区の焼肉鍋島を経営されている方の話、又宮崎県中部分区の前田会員の報告と内容の濃い話が聞くことが出来ました。

最後にクラブの皆さんに「私の職業奉仕」と題して原稿を提出してくださいとの案内がありました。先ほど幹事の田邊さんが報告した通りでございます。5月末が締め切りですので皆さん宜しくお願いします。

今日の卓話は岩切会長から要請があり昔の自社の話をしてくれないかとのことでした。

父の葬式の挨拶で少し話をしたのを詳しく話してもらえないかとのことで、その話をさせていただきます。私は高校卒業と同時に東京の建設会社に就職していました、宮崎に帰ってきたのは父が病で倒れてしまいやむなく帰ってきたのですが、父と一緒に仕事をしたこともなく話もあまりしたこともありませんでした。父が起こした会社の後を引き継ぎ、5歳下の弟と一緒に現在までやってきております。昭和45年から帳簿が残っていて当時の売り上げを見たところ現在の売り上げと変わらないくらいの仕事をしていたようで当時の私のアルバイトの日給が800円の時代ですから、当時としては相当なことだと思います。

小さいころ親父と一緒に夕食を食べた記憶がないくらい仕事一筋で飲むことも豪快でした。

正月は1月16日に山の神祭りを毎年実施し70人からのお客が来ていたのを覚えております。当時の親父は製材と建築請負業をしていて住宅の建築を請けていたようで当時は少なかったようで、大工が仕事をもってきていたようです。今ではハウスメーカー的な工務店が多い時代ですが、当時は営業もいなく親父一人の人脈で仕事をこなしていたことを思うととてもまねのできないことです。

現在、当社ではプレカット加工と木材販売を主体にした内容です、だんだん大工職人も高齢化してきて若い人が少なくなってきており、又技術力を身に着けた人が少なくなってきています、そのような中でプレカットの需要は高まってきていて墨付けする大工も少しずつ減少しているのが実情です。

そんな中で、木造の大規模な施設が多くなってきて

います。保育園・老人ホームなどの施設が多くなってきています。木造の構造は4mの定尺部材を接合して作っていきます。例えば50Mの長さの建物の場合は12本から13本の材料を接続するのですが一つの材料の長さが初手の長さより1mm長いと全体で12ミリから長くなり現場で収まらないといった不具合が生じますが、あらかじめ大工さんがその辺を理解していると現場で中間から納めるなどしてくれますが、そうでない場合はプレカットが間違っていると大騒ぎしてトラブルこともあり、なかなかむつかしいところがあります。今後ますますプレカットの需要は高まると感じていますが、設備の対応もコストのかかる場所があり複雑な心境ですが、この職業を頑張っていく所存です。

## ■ 例会の様子

### SAA

#### 鷗野隆春会員



## ■ 4つのテスト唱和☆太田雅文会員 「例会食」



## ■ 4つのテスト「言行はこれにてらしてから」

### 1 真実かどうか

### 2 皆に公平か

### 3 好意と友情を深めるか

### 4.皆のためになるかどうか